

御茶壺道中その三

内藤 恭 義

茶壺道中の開始

いつから茶壺道中が始まったのかは、はっきりしません。

幕政を記録した『徳川実紀』のうち、『大猷院御実紀』では寛永十年(一六三三)としてあり、『有

徳院御実紀』では寛永九年(一六三二)としてあります。

寛永九年に大御所秀忠が亡くなり、政治の実権が名実共に三代將軍家光に移ると、家光は様々な政治改革を次々と断行していきま

す。でも、政権移動があつて、直ちに茶壺道中を制度化し、その年から実施というのはちょっと無理があることから、寛永九年に制度化され、翌年から実施されたものと解されています。

このように制度の上では寛永九年もしくは十年実施となるのですが、実際にはもっと早くから宇治採茶使の派遣があつたことが知られています。

制度がどんなものであつたかについては、歩行頭役かちしやくの者が責任者となること、責任者は巡年制で交代すること以外わかりませんが、それまでは年毎に違つていた行列の規模や運ぶ壺の数、求める茶の量、宿泊地などと共に往路は東海道、復路は甲州街道というような道中コースも決められたと思われ



宇治御茶壺之巻のうち御茶壺固立之図
茶壺を梱包しているところ(国会図書館蔵)

歴史教室開催

ふるさとの歴史に触れてみませんか。
「人物で綴る郡内の歴史」をテーマとした歴史教室を6月から1月まで開催します。

会場 富士女性センター小研修室
時間 午前10時～12時
参加 どなたでも自由
(資料代1,000円)

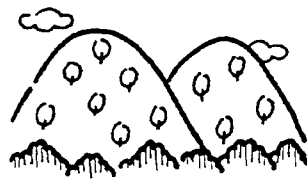
内容

- 第1回(6月26日) 「護良親王伝-南北朝期の郡内」
- 第2回(7月24日) 「浅野氏重-勝山城の築城」
- 第3回(8月28日) 「関戸左近-郡内百姓一揆」
- 第4回(9月25日) 「空胎-信仰の山三ツ峠の開山」
- 第5回(10月23日) 「小林宇十郎-織物の振興」
- 第6回(11月27日) 「天野開三-安政大地震と開三鍋」
- 第7回(12月25日) 「菊地實二郎-郡内自由民権運動」
- 第8回(1月22日) 「福田俊秀-郷土の彫刻師」

問合先

都留市郷土研究会
事務局 小林貞夫 ☎(43) 6916

第一回植物観察会



春の花の季節を少し過ぎてしまいましたが、今が植物の最も元気な季節だと思えます。文化会館から白木山に登り、植物の姿を観察しながら、林の構造や働きについて勉強しましょう。

日時 6月19日(日)

午前10時～午後1時

小雨決行

※雨天の場合は文化会館内で行います。

講師 森江晃三

(都留文科大教授)

集合場所 文化会館ロビー

申込・問合先

市教育委員会文化振興係

ふるさとの



六月

5日 端午の節句

市内各地

第一回増田誠画伯ゆかりの作家展

岡 義 実 展

岡画伯は、昭和二十年、福岡県生まれ。画家を志し、二十四歳でパリへ……。

「いと語る岡画伯の作品は、フランス画壇はもとより、国を超えて多くの人々に愛され、期待されています。」

この機会にぜひ、鑑賞いただきたいと思えます。

期間 6月24日(金)～

7月17日(日) 月曜休館

午前9時30分～

午後4時30分

会場 ふるさと会館2階

増田誠美術館

◎岡画伯講演会

日時 6月30日(木)

午後2時～3時30分

会場 文化会館四階ホール

特に、ノルマンディー地方の風景をテーマの中心に取りあげ、水墨画を思わせる濃淡の色彩と、流れるような筆づかい。

「自然の中に、心」を表現した